

2017/03/01(水)18:30-20:00

沖縄から東京へ出前講座！みんなで学ぼうサンゴの海

多様なエビ・カニ類を育む沖縄のサンゴ礁

3月5日は「サンゴの日」、ご存知でしたか？サンゴといえば沖縄ですが、沖縄県は多数の島々からなる島嶼県。各島には、サンゴ礁以外にも、森林、湖沼、河川、湧水(地下水域)、干潟、マングローブ林など、様々な自然環境が存在します。それらの中でもサンゴ礁は、多様な生物を育み、人々と強い関わりを持つ自然環境として、沖縄では古くから重要視されてきました。

沖縄では毎年この「サンゴの日」にあわせて、サンゴを大切にしたい県民の心を育むことを目的とした「おきなわサンゴ礁ウィーク」が開催され、県内各地でサンゴ礁の保全に関する多くのイベントが展開されます。

サウジアラビア国営石油会社サウジアラムコは、2011年以来、沖縄の原油ターミナルを利用し事業を展開、併せてCSR活動を行っています。今回は沖縄県を飛び出し、東京でもサンゴの海について学んでいただこうと、日本法人アラムコ・アジア・ジャパンが沖縄県立芸術大学の藤田喜久准教授をお招きし、沖縄のサンゴ礁に見られる様々な微環境と、そこに見られる多様なエビ・カニ類の暮らしぶりを紹介していただきます。



藤田喜久(ふじた・よしひさ)

1973年、兵庫県生まれ。琉球大学大学院を修了後、大学や専修学校等での講師を経て、現在、沖縄県立芸術大学・准教授。沖縄の島々を巡り、

河川からサンゴ礁にいたる様々な自然環境に暮らす無脊椎動物(特に甲殻類と棘皮動物)の研究を行っている。また、科学教育、漁業振興、自然環境保全など社会貢献活動の実績も多数。日本甲殻類学会学会賞(2004年、2013年)、沖縄生物学会池原貞雄記念賞(2012年)の受賞歴がある。



サンゴ礁
ウィーク2017
2/25日 - 3/12日

■MOTTAINAI STATION 内の「毎日メディアカフェ」にて行われます。
東京都千代田区一ツ橋1-1-1
毎日新聞東京本社ビル(パレスサイドビル)1F東側、平川門側



お申込みは毎日メディアカフェのWEBサイトから！

毎日メディアカフェ



<http://mainichimediacafe.jp/>

